

親子の飲行動に関する一考察
—女子大生とその両親—

原田まつ子^{1*}, 関口紀子^{1*}, 加藤栄子^{2*}, 東愛子^{1*}, 斉藤禮子^{1*}, 下川千代子^{3*},
五十嵐益恵^{3*}, 副島敏子^{4*}, 三石禮子^{5*}, 高木廣文^{6*}

(東京家政大学^{1*}, 淑徳短期大学^{2*}, 相模女子大学^{3*}, 聖徳大学^{4*}, 昭和女子大学^{5*}, 文部省数理統計研究所^{6*})

親子の飲行動に関する一考察 —女子大生とその両親—

原田まつ子^{1*}, 関口紀子^{1*}, 加藤栄子^{2*}, 東愛子^{1*}, 斉藤禮子^{1*}, 下川千代子^{3*},
五十嵐益恵^{3*}, 副島敏子^{4*}, 三石禮子^{5*}, 高木廣文^{6*}

(東京家政大学^{1*}, 淑徳短期大学^{2*}, 相模女子大学^{3*}, 聖徳大学^{4*}, 昭和女子大学^{5*}, 文部省数理統計研究所^{6*})

Studied under the Drinking Behaviors about Parents and Children

Different of Female Students and Their Parents

Matsuko Harada, Noriko Sekiguchi, Eiko katō, Aiko Higashi, Reiko Saitō, Chiyoko Shimokawa,
Masue Igarashi, Toshiko Soegima, Reiko Mitsuishi and Hirofumi Takagi

- *1 *Tokyo Kasei University*, 1-18-1, Kaga, Itabashi-ku, Tokyo, 173-0003
- *2 *Shukutoku Junior College*, 5-3-7, Maeno-cho, Itabashi-ku Tokyo, 174-0063
- *3 *Sagami Women's University*, 2-1-1 Bunkyo, Sagamihara-shi, Kanagawa, 228-0807
- *4 *Seitoku University*, 531 Sagamidai, Matudo-shi, Chiba, 271-0000
- *5 *Showa Women's University*, 1-7-57, Taishidou, Setagaya-ku, Tokyo, 154-0004
- *6 *The Institute of Statistical Mathematics*, 4-6-7, Minami-azabu, Minato-ku, Tokyo, 106-0047

*1 〒173-0003 東京都板橋区加賀 1-18-1

*2 〒174-0063 東京都板橋区前野町 5-3-7

*3 〒228-0807 神奈川県相模原市文京 2-1-1

*4 〒271-0000 千葉県松戸市相模台 531

*5 〒154-0004 東京都世田谷区太子堂 1-7-57

*6 〒106-0047 東京都港区南麻布 4-6-7

Similarities and differences between parents and children in beverage drinking behavior and preferences were investigated using female college students and their parents as subjects, yielding the following results.

More female college students than their parents drink all of the beverages except vegetable juice. They drink them at mealtimes, and it was inferred that they drink a variety of beverages at mealtimes. The reasons given for choosing the beverages was "custom" for milk, "good for health" for dietary fiber beverages, "thirst" for cooffee/tea(with and without sugar), and isotonic beverages, and "I like them" for lactic acid bacteria beverages, fruit juices, and coladrinks/carbonated beverages. Thus, parent-child differences were observed, and a tendency for the eating habits of female college students to be independent was inferred. There was a high percentage of agreement among all three persons in regard to regular drinking of milk, lactic acid bacteria beverages, fruit juices, green tea/oolong tea, and coffee/tea with sugar, and

they were desired in terms of preference. Milk was chosen because “It’s good for health” and green tea/oolong tea because of “thirst,” and it was inferred that they were kept on hand in the home. In addition, both parents drink green tea/oolong as a “custom,” and mothers predominated among those who drink them at mealtime/other times at home. Thus, differences were observed between the drinking behavior of the female college students and their parents.

1. 緒 言

近年、飲料の市場は種類、容器、容量等の多種多様に顧客のニーズに応じた開発と自動販売機や大型冷蔵庫の普及により、いつでも、どこでも、温冷の飲料が手軽に入手可能になった。これらの変化は家計調査年報¹⁾の茶類、コーヒー・ココア、その他の飲料の消費量の上昇や酒類食品統計年報²⁾における嗜好飲料の新分野飲料（コーヒー、ミネラルウォーター、ウーロン茶、緑茶等の茶系ドリンク）が生産・販売量の増加傾向にあることに

より認められた。飲料に関する調査は、日本茶と食事について本田ら³⁾の報告、牛乳について合田ら⁴⁾の飲用量と嗜好や、氷山ら⁵⁾の飲用習慣と食品摂取パターンによる報告がある。また、関ら⁶⁾は女子大生を対象に飲料の飲む理由や季節による摂取量の差を、佐藤ら⁷⁾は摂取状況について報告しているが、女子大生とその両親の飲行動の差異や類似点については明らかにされていない。そこで本調査では、両親と食生活が独立傾向になりがちな女子大生とその両親を対象に飲料の摂取有無、時間帯、嗜好、理由など飲行動について調査し、女子大

表1 対象者の特性

項 目	女子大生 (n=271)		父親 (n=271)		母親*1 (n=271)	
	実数	%	実数	%	実数	%
〈年齢〉						
10代	268	98.9				
20代	3	1.1				
30代					1	0.4
40代			137	50.6	234	86.3
50代			131	48.3	36	13.3
60代			3	1.1		
身長 cm						
	M±SD	CV	M±SD	CV	M±SD	CV
身長 cm	158.5±5.0	3.16	167.7±5.2	3.09	155.2±4.3	2.78
体重 kg	52.3±7.7	14.76	65.2±7.7	11.83	53.1±6.7	12.62
BMI	20.8±2.6	12.66	23.2±2.3	10.05	22.0±2.6	11.85
実数 %						
〈肥満度〉*2						
痩せ	46	17.0	36	13.3	76	28.0
普通	162	59.8	166	61.3	152	56.1
やや肥満	22	8.1	34	12.5	18	6.6
肥満	11	4.1	7	2.6	7	2.6
無回答	30	11.1	28	10.3	18	6.6

*1 母親の職業 有：170 (63.2%)
無：99 (36.8%)

*2 肥満度の算出は第5次改訂 日本人の栄養所要量の性・年齢別 BMI 推定基準値⁷⁾を用いた。

痩 せ・・・10%未満

普 通・・・±10%

やや肥満・・・+10%～+20%未満

肥 満・・・+20%以上

表2 飲料の摂取状況

飲物	有 無	全体	女子大生	父親	母親	χ^2 検定	
		n=813	n=271	n=271	n=271	女子大生-父親	女子大生-母親
1 牛乳	飲む* ¹	641 (78.8)* ²	224 (82.7)	202 (74.5)	215 (79.3)	*	
	飲まない	171 (21.0)	47 (17.3)	69 (25.5)	55 (20.3)		
2 低脂肪牛乳	飲む	302 (37.1)	113 (41.7)	89 (32.8)	100 (36.9)	*	
	飲まない	510 (62.7)	158 (58.3)	182 (67.2)	170 (62.7)		
3 乳酸菌飲料	飲む	539 (66.3)	224 (82.7)	140 (51.7)	175 (64.6)	***	***
	飲まない	273 (33.6)	47 (17.3)	131 (48.3)	95 (35.1)		
4 野菜ジュース	飲む	320 (39.4)	88 (32.5)	137 (50.6)	95 (35.1)	***	
	飲まない	492 (60.5)	183 (67.5)	134 (49.4)	175 (64.6)		
5 果実飲料	飲む	586 (72.1)	260 (95.9)	151 (55.7)	175 (64.6)	***	***
	飲まない	227 (27.9)	11 (4.1)	120 (44.3)	96 (35.4)		
6 緑茶・ウーロン茶	飲む	764 (94.0)	259 (95.6)	244 (90.0)	261 (96.3)	*	
	飲まない	49 (6.0)	12 (4.4)	27 (10.0)	10 (3.7)		
7 コーラ・炭酸飲料	飲む	493 (54.0)	211 (77.9)	120 (44.3)	108 (39.9)	***	***
	飲まない	374 (46.0)	60 (22.1)	151 (55.7)	163 (60.1)		
8 コーヒー・紅茶砂糖入り	飲む	514 (63.2)	196 (72.3)	159 (58.7)	156 (58.7)	***	***
	飲まない	302 (37.1)	75 (27.7)	112 (41.3)	115 (42.4)		
9 コーヒー・紅茶砂糖なし	飲む	450 (55.4)	170 (62.7)	113 (41.7)	167 (61.6)	***	
	飲まない	363 (44.6)	101 (37.3)	158 (58.3)	104 (38.4)		
10 スポーツ飲料	飲む	358 (44.0)	181 (66.8)	108 (39.9)	69 (25.5)	***	***
	飲まない	455 (56.0)	90 (33.2)	163 (60.1)	202 (74.5)		
11 食物繊維飲料	飲む	244 (30.0)	117 (43.2)	62 (22.9)	65 (24.0)	***	***
	飲まない	569 (70.7)	154 (56.8)	209 (77.1)	206 (76.0)		

* 1 無回答・不明は除く, * 2 () 内はnに対する割合 (%)。

* p<0.05, ** p<0.01, *** p<0.001

生とその両親の差異と類似点を明らかにし、栄養指導上の資料を得るため、検討したので報告する。

2. 調査方法

調査対象：都市近郊の家政・食物系の女子大学生271名とその両親（父親271名・母親271名）

調査時期：平成6年4月～5月

調査方法：学生が各家庭へアンケート調査用紙を持ち帰り、学生及び両親への自記式、また学生による両親への聞き取り調査を行った。

調査内容：飲料の摂取状況（有無）、飲料の摂取場所・時間帯・嗜好及び理由について親子の差異と類似点をみた。

分析方法：百分率、女子大生と両親の差異は χ^2 検定、さらに女子大生と両親の一致性をみるためマクネマー検定⁸⁾をHALBAU⁹⁾により行った。

3. 結 果

(1) 対象者の特性

対象者の特性は表1に示した通りである。

年齢は女子大生18～20歳、父親が40代と50代で各々約50%、母親は40代が約80%を占めている。体格はBMI(body mass index; 体重kg/身長²m²)が女子大生20.8±2.6、父親23.2±2.3、母親22.0±2.6で、肥満度が+10%以上のやや肥満・肥満は、女子大生、父親・母親共に約15%以下で少なく、一方、-10%未満の痩せは女子大生17%、父親13.3%、母親28%であった。また実体型に対する意識について、実体型が±10%の普通区分の女子大生、父・母親は約50%以上が太りすぎと意識し、自己の体型に比べて肥満傾向に意識していた。母親の有職率は63.2%であった。

(2) 飲料の飲行動

1) 飲料の摂取状況

日頃飲んでいる飲料の摂取状況（飲む・飲まない）について表2に示した。

全体では牛乳，果実飲料，乳酸菌飲料，緑茶・ウーロン茶，コーヒー・紅茶（砂糖入り・砂糖なし），コーラ・炭酸飲料を50%以上の者が飲むと回答し，緑茶・ウーロン茶を除くこれらの飲料を1日コップ1杯以上を60%以上が摂取していた。一方，低脂肪牛乳，野菜ジュース，食物繊維飲料は「飲まない」が60%以上と多かった。女子大生と父親・母親の三者が共に「飲む」と回答した高比率の飲料は緑茶・ウーロン茶，牛乳であった。

次に飲料中で三者別によく飲まれているのは，女子大生が1位に果実飲料（95.9%），次に緑茶・ウーロン茶（95.6%），牛乳，乳酸菌飲料（82.7%），コーラ・炭酸飲料（77.9%）の順で，父親と母親は共に1位に緑茶・ウーロン茶（父親；90%，母親；96.3%），2位に牛乳（父親；74.5%，母親；79.3%）であった。一方，飲まれていない飲料は女子大生が野菜ジュース（67.5%），食物繊維飲料（56.8%），低脂肪牛乳（58.3%）の順で，

父親と母親は共に1位に食物繊維飲料（父親；77.1%，母親；76%），2位に父親が低脂肪牛乳（60.1%），母親がスポーツ飲料（74.5%）で3位は父親がスポーツ飲料，母親が低脂肪牛乳の順位であった。

次に女子大生と父親・母親間を各々検討すると，女子大生は父・母親に比べて「飲む」と回答しているが，コーラ・炭酸飲料，スポーツ飲料，乳酸菌飲料，果実飲料，コーヒー・紅茶砂糖入り，食物繊維飲料が多く（ $p<0.001$ ），さらに父親と比較してコーヒー・紅茶砂糖なし（ $p<0.001$ ）を「飲む」と回答した者が多かった。一方，父親は野菜ジュースを50.6%が「飲む」と回答している者に比べて，女子大生の飲まない者が多く，父親の方が飲む傾向で有意差が認められた（ $p<0.001$ ）。女子大生は野菜ジュースを除く他の飲料を父・母親に比較して，量，種類共に多く摂取している傾向であった。

2) 飲料を飲む場所と時間帯

飲料の飲む場所（家庭内・家庭外）について表3に示した。

表3 飲料の飲む場所

飲物	場 所	全体	女子大生	父親	母親	χ^2 検定	
		n=813	n=271	n=271	n=271	女子大生-父親	女子大生-母親
1 牛乳	家庭内	601 (73.9)*1	223*2 (82.3)	173 (63.8)	205 (75.6)	***	
	家庭外	52 (6.4)	9 (3.3)	31 (11.4)	12 (4.4)		
2 低脂肪牛乳	家庭内	302 (37.1)	117 (43.2)	86 (31.7)	99 (36.5)		
	家庭外	12 (1.4)	2 (0.7)	7 (2.6)	3 (1.1)		
3 乳酸菌飲料	家庭内	410 (50.4)	163 (60.1)	96 (35.4)	151 (55.7)		***
	家庭外	129 (15.9)	66 (24.4)	45 (16.6)	18 (6.6)		
4 野菜ジュース	家庭内	245 (30.1)	79 (29.2)	86 (31.7)	80 (29.5)	***	
	家庭外	73 (9.0)	11 (4.1)	49 (18.1)	13 (4.8)		
5 果実飲料	家庭内	306 (37.6)	93 (34.3)	76 (28.0)	137 (50.6)	**	***
	家庭外	277 (34.1)	167 (61.6)	69 (25.5)	41 (15.1)		
6 緑茶・ウーロン茶	家庭内	423 (52.0)	118 (43.5)	123 (45.4)	182 (67.2)		***
	家庭外	341 (41.9)	144 (53.1)	118 (43.5)	79 (29.2)		
7 コーラ・炭酸飲料	家庭内	131 (16.1)	33 (12.2)	31 (11.4)	67 (24.7)	**	***
	家庭外	310 (38.1)	185 (68.3)	80 (29.5)	45 (16.6)		
8 コーヒー・紅茶砂糖入り	家庭内	184 (22.6)	69 (25.4)	35 (12.9)	80 (29.5)	*	***
	家庭外	327 (40.2)	133 (49.1)	119 (43.9)	75 (27.7)		
9 コーヒー・紅茶砂糖なし	家庭内	197 (24.2)	79 (29.2)	30 (11.1)	88 (32.5)	**	
	家庭外	254 (31.2)	96 (35.4)	79 (29.2)	79 (29.2)		
10 スポーツ飲料	家庭内	89 (10.9)	40 (14.8)	16 (5.9)	33 (12.2)		***
	家庭外	275 (33.8)	148 (54.6)	88 (32.5)	39 (14.4)		
11 食物繊維飲料	家庭内	95 (11.6)	50 (18.5)	13 (4.8)	32 (11.8)	**	
	家庭外	239 (29.4)	68 (25.1)	45 (16.6)	31 (11.4)		

* 1 () 内はnに対する割合 (%)。

* 2 複数回答

* $p<0.05$, ** $p<0.01$, *** $p<0.001$

表4 飲料の飲む時間帯

飲物	時 間 帯	全体	女子大生	父親	母親	χ^2 検定	
		n=813	n=271	n=271	n=271	女子大生-父親	女子大生-母親
1 牛乳	食事時	374(46.0) *1	149*2 (55.0)	110 (40.6)	115 (42.4)	* * *	* *
	食事外	366 (45.0)	118 (43.5)	111 (42.1)	134 (49.4)		
2 低脂肪牛乳	食事時	167 (20.5)	67 (24.7)	45 (16.6)	55 (20.3)	*	
	食事外	169 (20.8)	61 (22.5)	53 (19.6)	55 (20.3)		
3 乳酸菌飲料	食事時	197 (24.2)	102 (37.6)	41 (15.1)	54 (19.9)	* * *	* * *
	食事外	375 (46.1)	150 (55.4)	103 (38.1)	122 (45.0)	* * *	*
4 野菜ジュース	食事時	130 (16.0)	51 (18.8)	41 (15.1)	38 (14.0)		
	食事外	204 (25.1)	56 (20.7)	93 (34.3)	55 (20.3)	* * *	
5 果実飲料	食事時	311 (38.3)	139 (51.3)	41 (15.1)	131 (48.3)	* * *	
	食事外	426 (52.4)	172 (63.5)	113 (41.7)	141 (52.0)	* * *	*
6 緑茶・ウーロン茶	食事時	586 (72.1)	208 (76.8)	176 (64.9)	204 (75.3)	* *	
	食事外	528 (64.9)	161 (59.4)	183 (67.5)	184 (68.1)	*	*
7 コーラ・炭酸飲料	食事時	112 (13.8)	66 (24.4)	20 (7.4)	26 (9.6)	* * *	* * *
	食事外	364 (44.8)	171 (63.1)	108 (39.9)	85 (31.4)	* * *	* * *
8 コーヒー・紅茶砂糖入り	食事時	260 (32.0)	118 (43.5)	63 (23.2)	79 (29.2)	* * *	* * *
	食事外	386 (47.5)	129 (47.6)	130 (48.0)	127 (46.9)		
9 コーヒー・紅茶砂糖なし	食事時	233 (28.7)	103 (38.0)	49 (18.1)	81 (29.9)	* * *	*
	食事外	338 (41.6)	117 (43.2)	86 (31.7)	135 (49.8)	* *	
10 スポーツ飲料	食事時	100 (12.3)	69 (25.5)	18 (6.6)	13 (4.8)	* * *	* * *
	食事外	290 (35.7)	135 (49.8)	94 (34.8)	61 (22.5)	* * *	* * *
11 食物繊維飲料	食事時	77 (9.5)	40 (14.8)	16 (5.9)	21 (7.7)	* * *	* *
	食事外	189 (23.2)	85 (31.4)	52 (19.2)	52 (19.2)	* *	* *

* 1 ()内はnに対する割合(%)。

* 2 複数回答

* p<0.05, ** p<0.01, *** p<0.001

全体で家庭内・外でよく飲まれているのは緑茶・ウーロン茶、果実飲料で、家庭内では牛乳が73.9%と極めて高率であった。そのほかに家庭内で多く飲まれているのは低脂肪牛乳、乳酸菌飲料、野菜ジュースであり、家庭外ではコーラ・炭酸飲料、コーヒー・紅茶(砂糖入り・なし)、スポーツ飲料、食物繊維飲料であった。

次に女子大生と父・母親間についてみると、女子大生は家庭外で飲むのが果実飲料、コーラ・炭酸飲料、コーヒー・紅茶砂糖なし、食物繊維飲料(p<0.01)、コーヒー・紅茶砂糖入り(p<0.05)を父親に比較して多く、また母親と比較して乳酸菌飲料、果実飲料、コーラ・炭酸飲料、コーヒー・紅茶砂糖入り、スポーツ飲料が多く有意差が認められた(p<0.001)。

飲料を飲む時間帯(食事時・食事外)について表4に示した。

全体で緑茶・ウーロン茶は食事時(72.1%)、食事外

(64.9%)に高い比率であった。他の飲料は食事時に牛乳(46.0%)、食事外に牛乳、乳酸菌飲料、果実飲料、コーヒー・紅茶(砂糖入り・なし)を40~50%が飲んでいた。

女子大生と父・母親間について比較すると、女子大生は父親と比較して野菜ジュースを除く他の飲料を食事時に、食事外には乳酸菌飲料、果実飲料、コーラ・炭酸飲料(p<0.001)、コーヒー・紅茶砂糖なし(p<0.01)、スポーツ飲料(p<0.001)、食物繊維飲料(p<0.01)を飲む者が多かった。また母親と比較しても女子大生は乳酸菌飲料(p<0.05)、コーラ・炭酸飲料、スポーツ飲料、食物繊維飲料(p<0.001)を食事時・外に飲む者が多く、そのほかに食事時に牛乳、コーヒー・紅茶(砂糖入り・なし)を、食事外に果実飲料を飲む者が多く有意差が認められた。

父・母親は緑茶・ウーロン茶を食事時・外いずれの時

表5 飲料の嗜好

飲物	嗜好	全体	女子大生	父親	母親	χ^2 検定	
		n=813	n=271	n=271	n=271	女子大生-父親	女子大生-母親
1 牛乳	好き*1	289(35.5) *2	110 (40.6)	95 (35.1)	84 (31.0)		
	普通	388 (47.7)	117 (43.2)	133 (49.1)	138 (50.9)		
	嫌い	110 (13.5)	37 (13.7)	33 (12.2)	40 (14.8)		
2 低脂肪牛乳	好き	95 (11.7)	36 (13.3)	31 (11.4)	28 (10.3)		
	普通	393 (48.3)	138 (50.9)	129 (47.6)	126 (46.5)		
	嫌い	226 (27.8)	68 (25.1)	74 (27.3)	84 (31.0)		
3 乳酸菌飲料	好き	292 (35.9)	152 (56.1)	70 (25.8)	70 (25.8)		
	普通	356 (43.8)	98 (36.2)	113 (41.7)	145 (53.5)	* * *	* * *
	嫌い	98 (12.1)	7 (2.6)	60 (22.1)	31 (11.4)		
4 野菜ジュース	好き	149 (18.3)	43 (15.9)	71 (26.2)	35 (12.9)		
	普通	294 (36.2)	79 (29.2)	110 (40.6)	105 (38.7)	* * *	
	嫌い	279 (34.3)	122 (45.0)	59 (21.8)	98 (36.2)		
5 果実飲料	好き	361 (44.4)	207 (96.4)	70 (25.8)	84 (31.0)		
	普通	320 (39.4)	56 (20.7)	127 (46.9)	137 (50.6)	* * *	* * *
	嫌い	69 (8.5)	2 (0.7)	42 (15.5)	25 (9.2)		
6 緑茶・ウーロン茶	好き	551 (67.8)	201 (94.2)	161 (59.4)	189 (69.7)		
	普通	229 (28.2)	60 (22.1)	92 (33.9)	77 (28.4)		
	嫌い	13 (1.6)	5 (1.8)	7 (2.6)	1 (0.4)		
7 コーラ・炭酸飲料	好き	164 (20.2)	84 (31.0)	46 (17.0)	34 (12.5)		
	普通	347 (42.7)	136 (50.2)	106 (39.1)	105 (38.7)	* * *	* * *
	嫌い	221 (27.2)	34 (12.5)	83 (30.6)	104 (38.4)		
8 コーヒー・紅茶砂糖入り	好き	284 (34.9)	112 (41.3)	85 (31.4)	87 (32.1)		
	普通	283 (34.8)	106 (39.1)	85 (31.4)	92 (33.9)	* * *	* * *
	嫌い	181 (22.3)	37 (13.7)	76 (28.0)	68 (25.1)		
9 コーヒー・紅茶砂糖なし	好き	222 (27.3)	81 (29.9)	53 (19.6)	88 (32.5)		
	普通	304 (37.4)	116 (42.8)	89 (32.8)	99 (36.5)	* * *	
	嫌い	210 (25.8)	50 (18.5)	101 (37.3)	59 (21.8)		
10 スポーツ飲料	好き	118 (14.5)	78 (28.8)	26 (9.6)	14 (5.2)		
	普通	373 (45.9)	145 (53.5)	131 (48.3)	97 (35.8)	* * *	* * *
	嫌い	240 (29.5)	25 (9.2)	85 (31.4)	130 (48.0)		
11 食物繊維飲料	好き	79 (9.7)	50 (18.5)	13 (4.8)	16 (5.9)		
	普通	338 (41.6)	134 (49.4)	106 (39.1)	98 (36.2)	* * *	* * *
	嫌い	288 (35.4)	57 (21.0)	112 (41.3)	119 (43.9)		

*1 無回答, 不明は除外, *2 () 内はnに対する割合 (%)。

*2 “好き”と“嫌い”について検定した。

* p<0.05, ** p<0.01, *** p<0.001

にも飲み、特に母親は家庭内で飲む者が67.2%と多かった。また野菜ジュースは父親が食事外に家庭外で飲む者が女子大生に比べて多く有意差が認められた (p<0.001)。

(3) 飲料の嗜好

飲料の嗜好(好き・普通・嫌い)について表5に示した。全体に「好き」に回答した高率の飲料は、緑茶・ウーロン茶 (67.8%)、次いで果実飲料 (44.4%) であった。

また「嫌い」の回答は食物繊維飲料が35.4%であった。三者を各々みると、女子大生は果実飲料や緑茶・ウーロン茶を94%以上の極めて高率に好み、父・母親もまた緑茶・ウーロン茶を女子大生ほど高率でないが約60%が好んでいた。一方、嫌いについて、女子大生は野菜ジュース (45.0%)、父親は食物繊維飲料 (41.3%)、母親はスポーツ飲料 (48.0%)、食物繊維飲料 (43.9%) であった。

次に女子大生と父・母親間を比較すると、女子大生は

表6 飲料の摂取理由

飲物	飲む理由	全体	女子大生	父親	母親	χ^2 検定	
		n=813	n=271	n=271	n=271	女子大生-父親	女子大生-母親
1 牛乳	体によい	453*1 (55.7)*2	156 (57.6)	134 (49.4)	163 (60.1)		
	美容	17 (2.1)	9 (3.3)	1 (0.4)	7 (2.6)	*	
	楽しみ	8 (1.0)	3 (1.1)	3 (1.1)	2 (0.7)		
	喉が渇く	157 (19.3)	57 (21.0)	51 (18.8)	49 (18.1)		
	好き	147 (18.1)	62 (22.9)	44 (16.2)	41 (15.1)		*
2 低脂肪牛乳	習慣	114 (14.0)	60 (22.1)	30 (11.1)	24 (8.9)	**	***
	体によい	201 (24.7)	69 (25.5)	61 (22.5)	71 (26.2)		
	美容	29 (3.6)	17 (6.3)	3 (1.1)	9 (3.3)	**	
	楽しみ	1 (0.1)	1 (0.4)	0 (0.0)	0 (0.0)		
	喉が渇く	67 (8.2)	26 (9.6)	22 (8.1)	19 (7.0)		
3 乳酸菌飲料	好き	49 (6.0)	21 (7.7)	16 (5.9)	12 (4.4)		
	習慣	33 (4.1)	17 (6.3)	7 (2.6)	9 (3.3)		
	体によい	232 (28.4)	87 (32.1)	72 (26.6)	73 (26.9)		
	美容	25 (3.1)	17 (6.3)	0 (0.0)	8 (3.0)		
	楽しみ	46 (5.5)	20 (7.4)	9 (3.3)	17 (6.3)		
4 野菜ジュース	喉が渇く	134 (16.6)	50 (18.5)	38 (14.0)	46 (17.0)		
	好き	200 (24.6)	122 (45.0)	31 (11.4)	47 (17.3)	***	***
	習慣	18 (2.3)	9 (3.3)	4 (1.5)	5 (1.8)		
	体によい	214 (26.0)	55 (20.3)	93 (34.3)	66 (24.4)		
	美容	45 (5.4)	29 (10.7)	1 (0.4)	15 (5.5)	***	*
5 果実飲料	楽しみ	17 (2.0)	7 (2.6)	5 (1.8)	5 (1.8)		
	喉が渇く	60 (7.5)	20 (7.4)	27 (10.0)	13 (4.8)		
	好き	84 (10.1)	37 (13.7)	31 (11.4)	16 (5.9)		***
	習慣	7 (0.8)	2 (0.7)	3 (1.1)	2 (0.7)		
	体によい	89 (10.8)	22 (8.1)	38 (14.0)	29 (10.7)		*
6 緑茶・ウーロン	美容	29 (3.5)	15 (5.5)	1 (0.4)	13 (4.8)	***	
	楽しみ	72 (8.7)	45 (16.6)	8 (3.0)	19 (7.0)	***	***
	喉が渇く	267 (33.0)	114 (24.1)	68 (25.1)	85 (31.4)	***	**
	好き	283 (34.5)	186 (68.6)	42 (15.5)	55 (20.3)	***	***
	習慣	17 (2.2)	9 (3.3)	3 (1.1)	5 (1.8)		
7 コーラ・炭酸飲	体によい	131 (16.1)	45 (16.6)	33 (12.2)	53 (19.6)		
	美容	41 (4.9)	32 (11.8)	0 (0.0)	9 (3.3)		***
	楽しみ	49 (5.9)	14 (5.2)	19 (7.0)	16 (5.9)		
	喉が渇く	371 (39.9)	165 (60.9)	96 (35.4)	110 (40.6)	***	***
	好き	334 (41.4)	132 (48.7)	78 (28.8)	124 (45.8)	***	
8 コーヒー・紅茶砂糖入り	習慣	366 (45.3)	96 (35.4)	133 (49.1)	137 (50.6)	**	***
	体によい	4 (0.5)	0 (0.0)	3 (1.1)	1 (0.4)		
	美容	1 (0.1)	1 (0.4)	0 (0.0)	0 (0.0)		
	楽しみ	57 (7.1)	32 (11.8)	9 (3.3)	16 (5.9)	***	*
	喉が渇く	284 (34.6)	120 (44.3)	90 (33.2)	74 (27.3)	***	***
9 コーヒー・紅茶砂糖なし	好き	150 (18.6)	86 (31.7)	35 (12.9)	29 (10.7)	***	***
	習慣	15 (1.8)	8 (3.0)	5 (1.8)	2 (0.7)		
	体によい	2 (0.2)	0 (0.0)	2 (0.7)	0 (0.0)		
	美容	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)		
	楽しみ	106 (12.9)	27 (10.0)	29 (10.7)	50 (18.5)		**
10 スポーツ飲料	喉が渇く	158 (19.3)	85 (31.4)	32 (11.8)	41 (15.1)	***	***
	好き	266 (32.4)	108 (39.9)	70 (25.8)	88 (32.5)		
	習慣	127 (15.4)	34 (12.5)	56 (20.7)	37 (13.7)	**	
	体によい	6 (0.7)	4 (1.5)	2 (0.7)	0 (0.0)		
	美容	6 (0.7)	5 (1.8)	0 (0.0)	1 (0.4)		
11 食物繊維飲料	楽しみ	100 (12.4)	26 (9.6)	22 (8.1)	52 (19.2)		**
	喉が渇く	149 (18.2)	84 (31.0)	22 (8.1)	43 (15.9)	***	***
	好き	204 (25.2)	88 (32.5)	37 (13.7)	79 (29.2)	**	
	習慣	117 (14.3)	30 (11.1)	38 (14.0)	49 (18.1)		
	体によい	33 (4.2)	12 (4.4)	14 (5.2)	7 (2.6)		
12 スポーツ飲料	美容	8 (1.1)	4 (1.5)	0 (0.0)	4 (1.5)		
	楽しみ	13 (1.6)	7 (2.6)	4 (1.5)	2 (0.7)		
	喉が渇く	286 (34.9)	151 (55.7)	82 (30.3)	53 (19.6)	**	***
	好き	63 (7.6)	43 (15.9)	12 (4.4)	8 (3.0)	**	***
	習慣	6 (0.7)	1 (0.4)	3 (1.1)	2 (0.7)		
13 食物繊維飲料	体によい	114 (13.9)	60 (22.1)	27 (10.0)	27 (10.0)	***	***
	美容	40 (4.9)	29 (10.7)	1 (0.4)	10 (3.7)	***	***
	楽しみ	13 (1.6)	5 (1.8)	2 (0.7)	6 (2.2)		
	喉が渇く	89 (10.8)	34 (12.5)	30 (11.1)	25 (9.2)		
	好き	48 (5.8)	33 (12.2)	9 (3.3)	6 (2.2)	***	***
	習慣	6 (0.7)	4 (1.5)	2 (0.7)	0 (0.0)		

* 1 複数回答 * 2 () はnに対する割合 (%)

* p<0.05, ** p<0.01 *** p<0.001

果実飲料, コーヒー・紅茶砂糖入り, 乳酸菌飲料, コーラ・炭酸飲料を父・母親に比べて好み ($p < 0.001$), 一方, 父・母親はスポーツ飲料や食物繊維飲料を嫌う者が多く有意差が認められた ($p < 0.001$). したがって, 女子大生は甘い飲料を好み, 父・母親は清涼感のある飲料を嫌う傾向がみられた. 野菜ジュースについて, 父親は女子大生に比較して「好き」が多く ($p < 0.001$), 父親が好んでいる傾向であった.

(4) 飲料の摂取理由

飲料の摂取理由を6項目設け, 回答を得た結果を表6に示した.

理由別に出現率の高い飲料は, 全体でみると「体によい」理由で飲む飲料が牛乳 (55.7%), 「喉が渇く」ためには緑茶・ウーロン茶, スポーツ飲料, コーラ・炭酸飲料, 果実飲料が33~40%, 「習慣」では緑茶・ウーロン茶 (45.3%) を飲む者が多かった.

女子大生の飲料選択理由は父・母親に比較して「体によい」健康的理由で食物繊維飲料 (父親・母親; $p < 0.001$) が多く, 生理的欲求の「喉の渇き」が理由で飲む者は果実飲料, 緑茶・ウーロン茶, コーラ・炭酸飲料, コーヒー・紅茶 (砂糖入り・なし), スポーツ飲料で (父

親・母親; $p < 0.001$), 嗜好的理由の「好き」は乳酸菌飲料, 果実飲料, コーラ・炭酸飲料 (父親・母親; $p < 0.001$) が多く, さらに「習慣」では牛乳 (父親: $p < 0.01$, 母親; $p < 0.001$) を飲む者が多く有意差が認められた.

一方, 父・母親は女子大生に比較して「習慣」を選択理由に緑茶・ウーロン茶を挙げている者が多かった (父親; $p < 0.01$, 母親; $p < 0.001$). また父親はコーヒー・紅茶砂糖入り ($p < 0.001$) を「習慣」で飲む者が女子大生に比較して多いが, 母親は「楽しみ」でコーヒー・紅茶 (砂糖入り・なし) を飲む者が多く有意差が認められた ($p < 0.001$). したがって, 女子大生は「体によい」, 「喉の渇き」や「好き」が選択理由で, 嗜好や生理的欲求・健康的欲求から飲料の選択をしている傾向が窺えた. また父・母親は飲料を「楽しみ」や「習慣」で飲む傾向がみえた.

(5) 飲行動における類似点

表7-1, 2, 3は飲行動における類似点をみるため, 飲料の摂取状況 (飲む・飲まない) および嗜好・理由の女子大生と父親・母親間の一致率とマクネマー検定による有意な関連性を示した.

表7-1 飲料の摂取状況における女子大生と両親の一致率

大学生		父親		χ^2 値	検定	母親		χ^2 値	検定
		飲む	飲まない			飲む	飲まない		
牛乳	飲む	170* ¹ (62.7)* ²	54 (19.9)	5.12791	*	84 (68.1)	39 (14.4)	0.7	
	飲まない	32 (11.8)	15 (5.5)			31 (11.5)	16 (5.9)		
低脂肪牛乳	飲む	52 (19.2)	61 (22.5)	5.39796	*	67 (24.8)	45 (16.7)	1.5513	
	飲まない	37 (13.7)	121 (44.6)			33 (12.2)	125 (46.3)		
乳酸菌飲料	飲む	121 (44.6)	103 (38.0)	56.4672	**	153 (56.7)	70 (25.9)	24.0109	**
	飲まない	19 (7.0)	28 (10.3)			22 (8.1)	25 (9.3)		
野菜ジュース	飲む	61 (22.5)	27 (10.0)	22.3689	**	46 (17.0)	41 (15.2)	0.5444	
	飲まない	76 (28.0)	107 (39.5)			49 (18.1)	134 (49.6)		
果実飲料	飲む	147 (54.2)	113 (41.7)	99.6923	**	170 (62.7)	90 (33.2)	74.2737	**
	飲まない	4 (1.5)	7 (2.6)			5 (1.8)	6 (2.2)		
緑茶・ウーロン茶	飲む	235 (86.7)	24 (8.9)	5.9394	*	251 (92.6)	8 (3.0)	0.0556	
	飲まない	9 (3.3)	3 (1.1)			10 (3.7)	2 (0.7)		
コーラ・炭酸飲料	飲む	107 (39.5)	104 (38.4)	69.2308	**	91 (33.6)	120 (44.3)	75.9416	**
	飲まない	13 (4.8)	47 (17.3)			17 (6.3)	43 (15.9)		
コーヒー・紅茶砂糖入り	飲む	113 (41.7)	83 (30.6)	10.0465	**	118 (43.5)	78 (28.8)	13.1121	**
	飲まない	46 (17.0)	29 (10.7)			38 (14.0)	37 (13.7)		
コーヒー・紅茶砂糖なし	飲む	72 (26.6)	98 (36.2)	22.5611	**	123 (45.4)	47 (17.3)	0.0440	
	飲まない	41 (15.1)	60 (22.1)			44 (16.2)	57 (21.0)		
スポーツ飲料	飲む	75 (27.7)	106 (39.1)	37.295	**	55 (20.3)	126 (46.5)	88.0072	**
	飲まない	33 (12.2)	57 (21.0)			14 (5.2)	76 (28.0)		
食物繊維飲料	飲む	39 (14.4)	78 (28.8)	28.8713	**	49 (18.1)	68 (25.1)	30.9643	**
	飲まない	23 (8.5)	131 (48.3)			16 (5.9)	138 (50.9)		

* 1 は実数, * 2 () 内は%.

* $p < 0.05$, ** $p < 0.01$

検定はマクネマー検定

表7-2 飲料の嗜好における女子大生と両親の一致率

大生		父親		χ^2 値	検定	母親		χ^2 値	検定
		好き	嫌い			好き	嫌い		
牛乳	好き	191* ¹ (74.3)* ²	30 (11.7)	0.0635		195 (75.6)	26 (10.1)	0.02	
	嫌い	33 (12.8)	3 (1.2)			24 (9.3)	13 (5.0)		
低脂肪牛乳	好き	117 (51.3)	61 (22.5)	0.2841		121 (52.2)	48 (20.7)	2.4198	
	嫌い	41 (18.0)	23 (10.1)			33 (14.2)	30 (12.9)		
乳酸菌飲料	好き	175 (73.2)	57 (23.8)	41.9516	**	204 (85.0)	30 (12.5)	16.4571	**
	嫌い	5 (2.1)	2 (0.8)			5 (2.1)	1 (0.4)		
野菜ジュース	好き	92 (39.8)	23 (10.0)	32.0381	**	79 (34.4)	33 (14.3)	5.8778	*
	嫌い	82 (35.5)	34 (14.7)			57 (24.8)	61 (26.5)		
果実飲料	好き	194 (81.5)	42 (17.6)	34.5682	**	217 (88.9)	25 (10.2)	17.9259	**
	嫌い	2 (0.8)	0 (0.0)			2 (0.8)	0 (0.0)		
緑茶・ウーロン茶	好き	245 (95.7)	7 (2.7)	0.3636		257 (98.1)	1 (0.4)	0.8	
	嫌い	4 (1.6)	0 (0.0)			4 (1.5)	0 (0.0)		
コーラ・炭酸飲料	好き	135 (58.2)	65 (28.0)	30.0125	**	119 (49.8)	87 (36.4)	47.5728	**
	嫌い	15 (6.5)	17 (7.3)			16 (6.7)	17 (7.1)		
コーヒー・紅茶砂糖入り	好き	138 (58.0)	66 (27.7)	17.5824	**	152 (64.7)	50 (21.3)	15.2836	**
	嫌い	25 (10.5)	9 (3.8)			17 (7.2)	16 (6.8)		
コーヒー・紅茶砂糖なし	好き	107 (46.7)	77 (33.6)	26.7723	**	146 (62.1)	41 (17.5)	0.6622	
	嫌い	24 (10.5)	21 (9.2)			33 (14.0)	15 (6.4)		
スポーツ飲料	好き	136 (58.4)	73 (31.3)	38.6667	**	94 (40.2)	116 (49.6)	85.1654	**
	嫌い	14 (6.0)	10 (9.2)			11 (4.7)	13 (5.6)		
食物繊維飲料	好き	92 (41.1)	77 (34.4)	28.09	**	95 (42.0)	77 (34.1)	38.7097	**
	嫌い	23 (10.3)	32 (14.3)			16 (7.1)	38 (16.8)		

* 1 は実数, * 2 () 内は%

* $p < 0.05$, ** $p < 0.01$

検定はマクネマー検定

女子大生と父親の両者が一致している飲料は、摂取状況において、牛乳 (62.7%, $p < 0.05$), 乳酸菌飲料 (44.6%, $p < 0.01$), 果実飲料 (54.2%, $p < 0.01$), 緑茶・ウーロン茶 (86.7%, $p < 0.05$), コーヒー, 紅茶砂糖入り (41.7%, $p < 0.01$) を飲む, 低脂肪牛乳 (44.6%, $p < 0.05$), 食物繊維飲料 (48.3%, $p < 0.01$) を飲まない者の一致率が高く有意な関連が認められた。また母親とでは、牛乳 (68.0%), 乳酸菌飲料 (56.7% $p < 0.01$), 果実飲料 (62.7%), 緑茶・ウーロン茶 (92.6%), コーヒー・紅茶砂糖入り・なし (43.5%・45.4%) を飲む, 低脂肪牛乳 (46.3%), 野菜ジュース (49.6%), 食物繊維飲料 (50.9%) を飲まない者の一致率が高く、乳酸菌飲料, 果実飲料, コーヒー・紅茶砂糖入り, 食物繊維飲料に有意な関連が認められた ($p < 0.01$)。

嗜好上好まれているのは、女子大生と父親間で牛乳 (74.3%), 乳酸菌飲料 (73.2%, $p < 0.01$), 果実飲料 (81.5%, $p < 0.01$), 緑茶・ウーロン茶 (95.7%), コーヒー・紅茶砂糖入り・なし (58.0%・46.7%, $p < 0.01$), 低脂肪牛乳 (51.3%), コーラ・炭酸飲料 (58.2%, $p < 0.01$) が高い一致率で、摂取一致率が高い飲料は嗜好上においても好まれ、母親間でも同様であった。選択理由は、女子大生と父親の摂取一致率の高い飲料で、「体によい」理由で牛乳 (47.1%) を、緑茶・ウーロン茶「喉が渇く」 (28.5%, $p < 0.01$) で選択し、母親間でも父親間と同様の理由で選択し一致していた。したがって、女子大生・父・母親の三者は、牛乳, 乳酸菌飲料・果実飲料, 緑茶・ウーロン茶, コーヒー・紅茶砂糖入り, 低脂肪牛乳, 食物繊維飲料の摂取および嗜好における飲行

表7-3 飲料の摂取理由における女子大生と両親の一致率

大学生	父 親		χ^2 値 検 定	母 親		χ^2 値 検 定	
	A	B		A	B		
牛乳							
体によい	A 80*1(47.1)*2 B 31 (18.2)	35 (20.6) 24 (14.1)	0.1364	96 (52.2) 41 (22.3)	28 (15.2) 19 (10.3)	2.08696	
低脂肪牛乳							
体によい	A 25 (48.1) B 13 (25.0)	5 (9.6) 9 (17.3)	2.7222	33 (49.3) 18 (26.9)	6 (9.0) 19 (14.9)	5.0417	*
乳酸菌飲料							
体によい	A 27 (22.3) B 32 (26.4)	15 (12.4) 47 (38.8)	5.4468	34 (22.2) 28 (18.3)	35 (22.9) 56 (36.6)	0.5714	
好き	A 17 (14.0) B 9 (7.4)	51 (42.1) 44 (36.4)	28.0167	29 (19.0) 18 (11.8)	52 (34.0) 54 (35.3)	15.5571	**
野菜ジュース							
体によい	A 28 (46.7) B 13 (21.7)	8 (13.3) 11 (18.3)	0.7619	20 (43.5) 9 (19.6)	8 (17.4) 9 (19.6)	0.0	
果実飲料							
喉が渇く	A 34 (23.1) B 32 (21.8)	32 (21.8) 49 (33.3)	0.0156	42 (24.7) 35 (20.6)	33 (19.4) 60 (35.3)	0.0147	
好き	A 34 (23.1) B 6 (4.1)	72 (49.0) 35 (23.8)	54.1667	39 (22.9) 14 (8.2)	85 (50.0) 32 (18.8)	49.4949	**
緑茶・ウーロン茶							
喉が渇く	A 67 (28.5) B 28 (11.9)	80 (34.0) 60 (25.5)	24.0833	75 (29.9) 32 (12.7)	83 (33.1) 61 (24.3)	21.7391	**
好き	A 45 (19.1) B 31 (13.2)	73 (31.1) 86 (36.6)	16.1635	72 (28.7) 47 (18.7)	57 (22.7) 75 (29.9)	0.7788	
習慣	A 55 (23.6) B 69 (29.6)	33 (14.2) 76 (32.6)	12.0098	59 (23.3) 73 (29.1)	36 (14.3) 83 (33.1)	11.8899	**
コーラ・炭酸飲料							
喉が渇く	A 50 (46.7) B 28 (26.2)	16 (15.0) 13 (12.1)	2.75	39 (42.9) 23 (25.3)	16 (17.6) 13 (14.3)	0.9231	
コーヒー・紅茶砂糖入り							
好き	A 27 (23.9) B 21 (18.6)	35 (31.0) 30 (26.5)	3.0179	40 (34.2) 23 (19.7)	23 (19.7) 31 (26.5)	0.0217	
コーヒー・紅茶砂糖なし							
好き	A 16 (22.2) B 12 (16.7)	25 (34.7) 19 (26.4)	3.8919	37 (30.1) 25 (20.3)	29 (23.6) 32 (26.0)	0.1667	
スポーツ飲料							
喉が渇く	A 45 (60.0) B 11 (14.7)	14 (18.7) 5 (6.7)	0.16	28 (50.9) 10 (18.2)	13 (23.6) 4 (7.3)	0.1739	
食物繊維飲料							
体によい	A 10 (25.6) B 4 (10.3)	11 (28.2) 14 (35.9)	2.4	11 (22.4) 8 (16.3)	16 (32.7) 14 (28.6)	2.0417	

肯定回答率の多い項目を記載，A：飲む，B：飲まない。

* 1は実数，* 2 ()内は%。

* P < 0.05，** P < 0.01

検定はマクネマー検定

動が類似していた。また選択理由は牛乳の「体によい」と緑茶・ウーロン茶の「喉が渇く」が類似していた。

3. 考 察

今回の調査により、女子大生と父・母親間には、飲料の飲行動による差異と類似点が明らかとなった。

女子大生は父親と比較して、野菜ジュースを除く他の飲料を「飲む」と回答している者が多く、1日コップ1杯以上を60%以上が飲み、飲料を多種多様に摂取している傾向が認められた。ペットボトルや瓶、スチール缶、紙容器等の容器の種類や大きさ、さらに自動販売機、大型冷蔵庫の普及、低エネルギー、嗜好、高品質志向、健康・安全志向、簡便志向の多種多様の飲料が開発され^{10)~12)}、これらを広く受け入れていることが窺える。これらの飲料は家庭外では果実飲料、コーラ・炭酸飲料、コーヒー・紅茶砂糖入り・なし、食物繊維飲料を飲む者が多く、また野菜ジュース以外の飲料を食事時に、食事外には乳酸菌飲料、果実飲料、コーラ・炭酸飲料、コーヒー・紅茶砂糖なし、スポーツ飲料、食物繊維飲料を飲む者が多かった。

染谷ら¹³⁾は、昼食に売店や自動販売機を利用し、ジュースや炭酸飲料(清涼)を飲む者が多い、また佐藤ら⁷⁾は、家庭外での飲料の購入先がコンビニエンスストアや路上の自動販売機を利用し、教室で飲む者が多いことを報告していることから、自動販売機やコンビニ等を利用し、昼食等に飲料を摂取していることが推測され、学校を取り巻く食環境などにも影響されていると推測される。嗜好と選択理由は乳酸菌飲料や果実飲料、コーラ・炭酸飲料の甘い飲料を好み、嗜好と選択理由が一致していた。また嗜好上好きな飲料は「体によい」、「喉が渇く」いずれにおいても選択し、飲料の選択基準に健康的、生理的欲求を充たすのに嗜好を加味している傾向であった。食物繊維飲料は「体によい」という健康上の理由から選択し摂取している。これはダイエットなどに対する関心がテレビや雑誌などの情報により得られ、また便秘予防に対する意識の現れが選択理由に挙げられ、摂取していると推測される。

林¹⁴⁾は女子短大生が飲料をCMや口込みにより選択し、情報に敏感であることを報告している。また本対象は家政・食物系の女子大生で、食物繊維の重要性を父親に比べて認識しているものと思われ、女子大生は意識や情報に敏感に反応し、また教育にも影響されていると推測される。更に女子大生は母親と比較して、「飲む」と回答した者が乳酸菌飲料、果実飲料、コーラ・炭酸飲料、

コーヒー・紅茶砂糖入り、スポーツ飲料、食物繊維飲料が多く、父親との比較と同様に多種類にわたり、量も多く摂取している傾向であった。更に場所はコーヒー・紅茶砂糖入りやスポーツ飲料、食物繊維飲料を家庭外で、果実飲料とコーラ・炭酸飲料は家庭内で飲み、時間帯では果実飲料とコーヒー・紅茶砂糖入りを除いて、父親との比較と同様に食事時・外に飲む傾向であった。これらの飲料の嗜好や選択理由もまた父親との比較と同様であった。

父親は女子大生と比較し、野菜ジュースを飲むと回答している者が多く、嗜好上好まれ、食事外に家庭外で摂取する傾向であった。野菜ジュースは野菜の摂取不足傾向¹⁵⁾の解消に、意識的に手軽な手段で自動販売機等を利用して野菜不足を補足していると推測される。

母親は女子大生に比べ、有意に「飲む」と回答している飲料はないが、コーヒー・紅茶砂糖入りやなしは「楽しみ」で飲む者が多く、休息時に摂取していることが推測される。類似点をみると、女子大生・父・母親の三者は牛乳、乳酸菌飲料、果実飲料、緑茶・ウーロン茶、コーヒー・紅茶砂糖入りを飲む一致率が高く、嗜好的に好まれ、牛乳においては健康上の「体によい」理由で、また緑茶・ウーロン茶は喉が渇いた時の飲料として、これらの飲料が家庭の常備品であることが推測される。また父・母親は緑茶・ウーロン茶を習慣で飲む一致率が高く、日本の伝統的飲料である緑茶と同様に、ウーロン茶も伝統的飲料に定着しつつあると推測される。

女子大生は生理的欲求の「喉の渇き」や健康的理由の「体によい」、嗜好的理由の「好き」に有意差が認められ、嗜好上でも好まれ、食事帯は食事外だけでなく食事時に飲む傾向がある。食物繊維飲料の選択理由から、現代の女子大生の瘦身志向を反映、意識したもので、情報や教育に影響されているものと思われる。また、女子大生は飲料を多種多様にわたって摂取し、容器や量を広く受け入れていると推測される。

要 約

女子大生とその父・母親による飲料の飲行動と嗜好の差異と類似点を明らかにし、栄養指導上の資料を得るため、女子大生271名とその両親(父親271名、母親271名)を対象に調査研究し、次の結果を得た。

1) 女子大生と両親は牛乳・乳酸菌飲料、果実飲料、緑茶・ウーロン茶、コーヒー・紅茶砂糖入りを飲む者が多く、また飲む一致率も高く、嗜好的に好まれ、牛乳は「体によい」理由で、緑茶・ウーロン茶は「喉が渇く」

理由で選択し類似していた。

2) 女子大生は両親に比較し、野菜ジュースを除く他の飲料を「飲む」と回答している者が多く、食事時に飲む者が多かった。また家庭外で食事外にコーラ・炭酸飲料を飲む者が多い。果実飲料、乳酸菌飲料、コーラ・炭酸飲料は嗜好と選択理由が共通して「好き」の回答が多く、コーヒー・紅茶砂糖入り、なし、スポーツ飲料を「喉の渇き」、食物繊維飲料を「体によい」、牛乳を「習慣」で選択する者が多かった。

3) 父親は女子大生と比較して、野菜ジュースを家庭外で食事外に飲む者が多く、嗜好上「好き」が多かった。

4) 両親は緑茶・ウーロン茶を食事時・外に、「習慣」で選択し、母親は家庭内で飲む者が多かった。

5) 両親はスポーツ飲料や食物繊維飲料を「嫌い」の回答が多かった。

なお、本研究は栄養指導研究会の活動によるものである。ご協力いただきました研究会員の皆様に謝意を表します。

参考文献

- 1) 総務庁統計局：家計調査年報 平成6年 p.393 (1994)
- 2) 日刊経済通信社調査出版部編：酒類統計食品年報 平成7年版, pp.261~313 (1995) 日刊経済通信社, 東京
- 3) 本田真美, 足立己幸：日本茶の飲用実態と食事, 栄養学雑誌, **47**, 241~249 (1989)
- 4) 合田敏尚, 高瀬幸子, 大石邦枝, 蒔田和子：年齢別にみた牛乳飲用量と牛乳に対する嗜好, 栄養学雑誌, **51**, 235~241 (1993)
- 5) 永山育子, 瀧田親友朗, 大塚譲：鳥取県における成人の牛乳飲用習慣が栄養摂取状況および食品パターンに及ぼす影響, 日本公衆衛生雑誌, **37**, 377~387 (1990)
- 6) 関千代子, 加藤栄子：飲料の摂取状況に関する研究, 淑徳短期大学研究紀要 **31**, 203~213 (1992)
- 7) 佐藤紀子, 白田久美：女子短大生の飲料利用状況について, 聖徳栄養短期大学紀要 **23**, 35~41 (1992)
- 8) 高木廣文：健康科学とコンピュータ p.20~21 (1996) 共立出版
- 9) 高木廣文：HALBAU—4 マニュアルⅡ基礎統計学, (1994) 現代数学社
- 10) 堀部義巳：平成4年における炭酸飲料の生産動向, 食品と容器, **34**, 422~451 (1993)
- 11) 堀部義巳：平成4年における炭酸飲料の生産動向, 食品と容器, **35**, 201~210 (1994)
- 12) 三浦利昭：PACKPIA, **4**, 61~63 (1993)
- 13) 染谷理恵, 根岸由紀子, 水野清子, 武藤静子：女子短大生の食生活の実態, 栄養学雑誌, **47**, 251~258 (1989)
- 14) 林 淳一：同志社女子大学学術年報 **43**, 2, 20~42 (1992)
- 15) 厚生省保健医療局健康増進栄養課：国民栄養の現状 平成5年度成績, p.85 (1995) 第一出版